

問1 温度計を使ってものの温度を正しくはかるとき、ものの温度が伝わるのは温度計のどの部分ですか。

問2 太陽が南の空を通るとき、太陽の高さはどのようになりますか。

問3 日光（にっこう）が当たっている場所は、日光が当たっていない日かげとくらべて、どのようなちがひがありますか。

問4 太陽を直接見ると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。

問5 時間がたつと、太陽はどの方角からどの方角へと動いていきますか。

問6 理科の学習で、あたたかさを表す「温度」を書き表すときに使う、「℃」という記号はなんと読みますか。

問7 地面にできたかげが、時間がたつと動くのはなぜですか。

問8 温度計の目もりを読むとき、温度計に対して目の向きはどのようにしますか。

問9 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何といいますか。

問10 校庭に、棒（ぼう）や木、人間など、いろいろなものが立っています。太陽の光が当たったとき、これらのかげの向きはどうなりますか。

問11 太陽（たいよう）から出ている光のことを、何といいますか。

問12 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側にできる暗い部分のことを何といいますか。

問13 北に顔を向けたとき、右がわが東、左がわが西になるような、方向をあらわす言葉を何といいますか。

問14 日光が当たっていない暗いところのことで、地面がつめたく、少ししめっている場所を何といいますか。

問15 太陽が動くと、それにとまって地面にできたかげも動く現象を何といいますか。

問16 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え えきの先（えきだめ）	温度計は、えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる仕組みになっています。
問2	答え 高いところを通る	太陽は、東から南の空の高いところを通して、西へと動きます。
問3	答え あたたかい	日光には地面や空気をあたためる性質 <small>せいしつ</small> があるため、日光が当たっている場所は日かげよりもあたたかくなります。
問4	答え 太陽の動きや形を観察 <small>かんさつ</small> するとき	しゃ光板は、目をいためないように太陽を直接 <small>ちよくせつ</small> 見るときに使います。
問5	答え 東から西	太陽は、時間がたつと東から南の空を通して西へと動いていきます。
問6	答え ど	温度を表す「℃」という記号は、「度（ど）」と読みます。
問7	答え 太陽が動くから	太陽が動くと、それにとまってかげも動くため、時間がたつとかげの位置 <small>いちか</small> が変わります。
問8	答え 直角（真横）にする	温度計の目もりは、温度計に対して直角になるようにして正しく読みます。
問9	答え 日なた	日光が当たっている場所のことを「日なた」といい、地面は明るく、あたたかくて、かわいた状態 <small>じょうたい</small> になります。
問10	答え すべて同じ向きにできる。	もののかげは、どんなものであっても、すべて同じ向きにできます。
問11	答え 日光（にっこう）	太陽から届く光 <small>こと</small> のことを「日光」といいます。地球をあたたかく照らしてくれます。
問12	答え かげ	日光がさえぎられたときに、太陽と反対側 <small>はんたいがわ</small> にできるものを「かげ」といいます。
問13	答え ほうい	北、南、東、西などの方向をあらわす言葉をほういといっています。北を向いたとき、右が東、左が西になります。
問14	答え 日かげ	日光が当たっていない暗い場所のことを「日かげ」といいます。
問15	答え かげの動き	太陽が動くと、それにとまってかげも動きます。この現象 <small>げんしょう</small> を「かげの動き」といいます。
問16	答え 日光をさえぎるものがあるとき	かげは、日光をさえぎるものがあるときに、太陽と反対側 <small>はんたいがわ</small> にできます。